10 山口県岩国市（いわくに）

農業者の所得向上と農村と都市の交流

食育・教育

中国四国農政局 ディスカバー農山漁村の宝 選定地区

FAM'S（ふぁむず）キッチンいわくに

～Food And Meet　岩国地域の「食と出会う場所」～

遠隔地の産物を集約する巡回トラック

採れたて新鮮な野菜たちです

経　緯

○山口県東部に位置する岩国市は、約80％が山林で占められ、瀬戸内海沿岸部から1,000m超の山地まで、起伏に富んだ地形となっている。山間部は過疎、高齢化が顕著であり、地域の優良な生産物が消費者へ届けられず、農業者の所得も向上しないといった課題解決のため、販売拠点を設立。

取組内容

○独自の集出荷システムを用い、出荷された農産物や加工品は店舗POSシステムと連動。10箇所の集出荷拠点に設置された端末で販売等が確認できるほか、リアルタイムで出荷者に販売状況をメール。
○店舗まで生産物を持ち込めない生産者のため、巡回トラック2台により毎日集荷。
○陳列エリアを生産者に割り当て、自ら創意工夫（POP掲示など）して販売を展開。
○売れ残りを子供食堂に提供。

活動の効果

○令和2年3月末現在で、当初の2倍以上となる生産者404名が登録。中山間地域の巡回集荷が活発化したことにより地域限定の農産物も陳列できるようになり、農家所得の向上と地域活性化に寄与。
○岩国市中心部をはじめ、岩国基地関係者、隣接県から来客が延べ80万人超。オープン2年目（令和元年度）に5年後の売上目標を達成。
○子供食堂への食材提供により、フードロス解消や子供の食育活動を推進。

応募団体からのアピール・メッセージ

イチゴジェラートなど地域ブランド加工品やギフト商品の開発、「ガールズマルシェ」などイベント開催、伝統野菜の料理教室などにより「食と人の交流の場」を創出します。

公式SNS　：　https://www.facebook.com/fams.kitchen.iwakuni/

山口県岩国市多田97番地2　Tel：0827-44-0831

11 山口県光市（ひかり）

農林漁業

農業人材発掘・育成

農事組合法人（のうじくみあいほうじん）　石城の里（いわきのさと）

～中山間地域で持続可能な農業に挑戦～

元気いっぱいに活躍する4人の青年農業技術者

KSAS搭載のスマート農業対応型コンバイン

経　緯

○高齢化により農業従事者が激減し、法人の利用権設定面積が急拡大。
○若手を雇用し水稲、小麦、大豆の３品目による土地利用型農業に的を絞り、持続可能な農業に挑戦。
○少数精鋭による法人経営、コストダウン化、スマート農業への対応など新たなチャレンジが始まった。

取組内容

○持続可能な農業への挑戦
①人材育成プログラムの策定。②米、麦、大豆の適期適作栽培を遵守し反収アップを図る。③スマート農業に挑戦。④将来を見据え《ヒト》《トチ》《モノ・品目》《モノ・資産》《カネ》の資源総点検を実施⑤地域住民とともに鳥獣対策に取り組む。
○関係機関と連携し、地域農業を担う人材の発掘・育成に積極的に取り組む。

活動の効果

○土地利用型農業の持続的な展開は、農産物の生産という役割のみならず、SDGsの具体的実践の場であり、気候変動がもたらす災害に強い地域づくりに寄与。
○農業高校のシンポジウムや意見交換会にアドバイザーとして参加。また、研修を積極的に受け入れ新規就農者の発掘・育成に貢献。

応募団体からのアピール・メッセージ

青年農業技術者を中心に「明日につなぐ農業」実現に向け、中山間地域における土地利用型農業での収量アップ、品質アップ、コスト削減に全力でチャレンジ。

http://nojikumiaiiwakinosato.info/

山口県光市大字塩田2613－2　Tel：0820-48-5220

12 山口県光市（ひかり）

農林漁業　地産地消　食育・教育

奨励賞

光市農業振興拠点施設「里の厨（くりや）」

（ひかりしのうぎょうしんこうきょてんしせつ　さとのくりや）

～自然の恵みとふるさとの笑顔を～

直売所の様子

周辺農地でのジャガイモ収穫体験

経　緯

○光市は平成18年度を地産地消元年として、学校給食での地場農産物の活用など「地産地消」を推進。
○こうした中、安定した流通が可能となる販売拠点の確立を目指し、パイロットショップでの実証等を経て平成23年、農業振興や生産者と消費者をつなぐ場として「里の厨」を整備し様々な活動を展開。

取組内容

○地場産農林水産物・農産物加工品等の販売。持ち込み困難な高齢生産者を対象に集荷を行う。
○安全・安心な農産物の生産の推進。
○農業体験研修の実施。
○学校給食への地元食材の提供。

活動の効果

○開設時と比べ、出荷者が約50人増加、月平均の売上げは4倍、来客数は2倍に増加。累計来場者が令和元年度に200万人を達成。令和3年、開設10周年。
○野菜の栽培や病害虫対策を学ぶ教室を年間50回程度開催し、毎回、多くの市民が参加。農業体験や調理体験を通じて生産者と消費者の相互理解を醸成。
○給食センターとの連携により、米はすべて光市産を使用するなど供給体制を強化するとともに、産地等の情報発信を通じて子どもたちへの食育を推進。

応募団体からのアピール・メッセージ

地場産農林水産物の加工及び販売による地産地消を促進するとともに、地域農業の振興を通じた地域環境の向上、食農教育の推進及び観光の振興を図り、活力に満ちた魅力あふれる地域社会の実現に貢献します。

URL：https://satonokuriya.jp/

光市大字束荷2391番地19　Tel：0820-49-0831

13 山口県長門市（ながと）

農村文化体験　ジビエ　雇用

奨励賞

株式会社SD-WORLD（かぶしきがいしゃ えすでぃー わーるど）

～徹底的地域主義　温泉から新たな歴史を刻む～

納涼祭で地域の盆踊りを復活

クラウドファンディングを使って休憩所を開設

経　緯

○俵山地域は、湯治湯として知られているが、訪問客の減少や、家族経営が中心の温泉宿経営者の高齢化が顕在化してきている。
○以前よりNPO法人が進めてきた地域活性化の取組を引き継ぐ形で、地域運営会社という形態の当社を設立し、従来の枠組みを超えた新たな活性化の取組を推進。

取組内容

○温泉街の中の空き施設を改修し、地域の食を活用する新たな事業等により、地域に収入と雇用を確保する。
○ジビエなど地域の食材を提供する飲食店を運営するほか、ゲストハウスやカフェ等も開設し、若者を中心とした観光客の多様なニーズに対応するとともに、地域住民との交流拠点として温泉街の賑わいの創出に尽力している。

活動の効果

○ジビエなど地域の食材を提供する飲食店は、通常の来客のほか、温泉宿の宿泊と食事を分離する「泊食分離」の取組における食事を分担する位置づけとして運営。旅館におけるオペレーションを削減することで、今後、温泉街の担い手不足や施設の老朽化といった課題解決につなげていく。
○ゲストハウス内にサロンや無料休憩スペースを配置し、誰でも気軽にくつろげる施設として、ワーケーションやリトリートの拠点として新たな観光客の獲得を目指している。

応募団体からのアピール・メッセージ

俵山温泉は、古くから抜群の泉質で湯治湯として栄えてきており、今もファンが多い。今後、地域の周遊を促して関係人口を築くことで、地域の再生につなげていく。

長門市俵山5149　Tel:0837-24-5000

14 山口県長門市（ながと）

6次産業化　雇用　農商連携

株式会社（かぶしきがいしゃ）　63Dnet（ろくさんでぃーねっと）

～つながる、つたわる、ものづくり、人づくり～

地元マルシェ LaLaフラン

地域食材を使用して開発した備蓄食料とフリーズドライ

経　緯

○農業生産者が、6次産業化を目指すため、不足する施設及び開発・販売に関する専門的知識やノウハウを補完し、6次産業化を支援する組織として設立。
○地域食材を使った新商品開発を専門家の下で実施し、販売も専属スタッフが取組むことで、農業生産者が、生産活動に専念しながら6次化商品を作り販売し、農業所得と併せ販売利益の獲得につながる農業経営モデルの確立を目指す。

取組内容

○地域農家や市場から農産物を集荷し、近隣の道の駅への卸売事業を展開。
○直営店舗「LaLaフラン」で、地域農産物や加工品、「LALA CREPE」では地域食材を使ったクレープ、「ララベーカリー」では山口県産小麦、海由来の天然酵母を使用したパンを販売。
○「ながとラボ」で地域食材を活用した商品を開発。フリーズドライ設備を導入し、新たな商品製造も可能にした。

活動の効果

○農産物を集荷し、道の駅等で販売。青果販売経験、野菜ソムリエの資格を持つスタッフが目利きを行い、学校給食や直営店舗販売などで人気を集める。
○コロナ禍により各方面から「ながとラボ」へ通販に対応した商品の開発依頼が急増し、開発支援・受託製造にも取り組む。

応募団体からのアピール・メッセージ

「ながとラボ」事業は、コロナ禍により通販商品の開発、製造依頼が県内外の生産者やホテル、飲食関係者から多く寄せられている。これらの依頼に併せ通販の発送業務の依頼相談も増えており、通販商品の開発・製造・発送をワンストップで支援する事業を追加し、コロナ禍において事業転換に取り組む事業者を支援していく。

長門市西深川270番地10（ながとラボ）　Tel：0837-22-0777

15 山口県長門市（ながと）

農泊・農林漁業

農村文化体験・農福連携

特定非営利活動法人（とくていひえいりかつどうほうじん） ゆうゆうグリーン俵山（たわらやま）

～愛着持って住み続けたいと思える地域づくり～

カナダ代表とのそば打ち体験

配食サービスのお弁当作り

経　緯

○温泉業の斜陽化と集落の過疎高齢化に伴い、地域活力が急激に衰退したことをきっかけに、地域の有志が中心となり、俵山グリーンツーリズム推進協議会を設立。
○平成21年、活力ある地域作りを目指し、法人化。
○平成30年、集落営農法人連合体、株式会社アグリベンチャー俵山へ参加。

取組内容

○「スクールバスの運行」、「交通空白地有償運送」「デイサービス事業」、「食の自立支援」など、生活で不便性を感じさせない取組を展開。
○小中学生・高校生を対象に、民泊・農業体験を受入。令和元年度は、ラグビーワールドカップカナダチームの合宿受入れ等、外国人との交流も増えた。
○俵山の自然環境を守るとともに、住民等とのネットワーク構築や新たな産業創出による地域活性化に貢献する。

活動の効果

○地域活性化を目指した事業を展開し、福祉事業を始め、環境整備、産業振興、地産地消、スポーツ・文化振興・教育等の活動に取り組んでおり、活動は地域内に徐々に浸透し、地域の活性化に手ごたえを感じている。
○集落営農法人連合体への参画などで農業分野での地域貢献も実践している。

応募団体からのアピール・メッセージ

現在の事業を継続することで、生活利便性を向上し、移住者の増加などをめざします。また、ラグビーワールドカップのキャンプ地となったことを活用し、日本・世界へ俵山の良さについて情報発信し、俵山地域の活性化を目指します。

URL：http://tawarayama.jp

長門市俵山4497番地　Tel：0837-29-5070

16 山口県長門市（ながと）

食育・教育　環境保全・景観保全　6次産業化

特定非営利活動法人（とくていひえいりかつどうほうじん）　ゆや棚田（たなだ）景観保存会（けいかんほぞんかい）

～ゆや棚田　魅せて！教えて！虜にさせて！～

絶景の棚田の広場（棚田の花段）

耕作放棄地再生農地のハーブ園と菜の花植付

経　緯

○全国棚田百選に選定されているが、高齢化・過疎化が進行し、耕作放棄地が増え棚田景観の維持・保全が困難に。
○長門市棚田保護条例が制定され、地域での6次産業化やグリーンツーリズムへの気運の高まりをきっかけに保存会を設立。棚田保全計画を策定し、棚田景観の保全・継承に取り組んでいる。

取組内容

○「ときめく棚田大作戦」と称し棚田再生プロジェクトを実行中。棚田にハーブや花を植付け、景観保全と6次産業化や鳥獣害対策など活用方法を模索。
○棚田の広場に遊び場（単管キューブ・ハンモック）を設置し、フォトジェニックの演出などを行い、多くの観光客を呼び込んだ。

活動の効果

○先人が守ってきた、棚田の景観保全を地域住民参加により実施することで、地元に対する愛着心や地域の和が生まれた。
○棚田や地域資源を活用したイベントを行い、都市住民と農村の交流を促進する事で、地域の活性化が図られた。
○交流カフェも開設し、高齢者が集まれる場所として、健康福祉へ寄与する。

応募団体からのアピール・メッセージ

棚田再生プロジェクト「ときめく棚田大作戦」へ引き続き挑戦し、棚田へハーブ等を入植することで美しい棚田景観を守り、ICTを活用した顧客獲得や情報発信に取り組み、交流人口の増加を見込む。ハーブを使った体験ツアーや棚田マルシェの開催など、都市住民との交流や地域住民の内外交流を更に推進していきたい。

URL：http://member.hot-cha.tv/~yuya-tanada/top.html

長門市油谷後畑1766番地　Tel：事務局0837-32-2056

17 山口県長門市（ながと）

里山再生　森林再生　農商連携

三隅林業研究グループ（みすみりんぎょうけんきゅう）×長門（ながと）やきとり横丁連絡協議会（よこちょうれんらくきょうぎかい）

～地元の食文化（焼き鳥）を地元資源で応援！～

協働で炭材を炭窯へ投入

小学生と炭を使った調理

経　緯

○炭の需要低迷と輸入量の増加により、農山村で製炭が行われなくなり薪炭用の里山は荒れ、飲食店（焼き鳥等）は良質な炭の入手が困難となった。「長門市を盛り上げたい」想いから、三隅林業研究グループと長門やきとり横丁連絡協議会が協働での製炭を始めた。

取組内容

○人口当たりの焼き鳥店舗数が日本トップクラスの長門市で、焼き鳥に不可欠な炭を生産するため作業道や里山の整備、炭窯の修繕等を行い、炭の生産を開始。
○長門やきとり横丁連絡協議会が、新型コロナウィルスの影響を大きく受けたことから、本取組の情報発信に努め、地元の炭を使う意義を紹介。
○地元小学生を対象に森林環境教育を実施。

活動の効果

○炭生産に向け、令和2年度に作業道修復500m、荒れた里山の整備1．1ha、破損した炭窯の修繕を行い、1．7トンの炭が生産できた。うち、0．7トンを市内の焼き鳥店で使用。（残りは令和3年度に使用。）
○本取組を全国放送、地方報道、全国誌を活用して情報発信を行う。また、オンラインやきとり祭in長門においても地元の炭を使う意義を紹介した。
○小学生への森林環境教育や林業志望の移住者への製炭指導など、若者を巻き込んだ活動が盛り上がってきた。

応募団体からのアピール・メッセージ

生産体制や技術を高め、長門やきとり横丁連絡協議会が求める炭の質と量の需要に応え、事業規模を拡大し、雇用の創出を目指す。使用後の炭を「みすみすみ」のネーミングで肥料として活用し、資源の循環利用を行う。

長門市東深川332-79　Tel:0837-22-3123

18 山口県柳井市（やない）

農林漁業

環境保全・景観保全

教育機関との連携

農事組合法人（のうじくみあいほうじん） あいさいの里（さと）

～食育が地産地消につながり地域を守る～

キャベツ収穫大きさ比べ　教育体験学習

アスパラガス収穫　ファームステイ

経　緯

○平成16年3月設立。収穫体験など消費者との交流を続けていたが参加者が固定化。
○地域の農業後継者不足が深刻化する中、農業の大切さを若い頃から浸透させる必要性を痛感し、食農教育や農業研修を積極的に受け入れるようになった。

取組内容

○小学校：体験授業、出前授業。
○中学校：3日間の職場体験授業で収穫や里山体験。
○農業高校：農業体験や視察受入れ。
○農業大学校：研修施設（古民家）で1ヶ月間の農業研修。
○その他、大学生のファームステイ、支援学校の実習、JA子供教室など受入。

活動の効果

○小学生にキャベツ等の植付から販売までの流れを経験させることにより、農業の楽しさや大切さを知ってもらうことができた。
○農業高校、農業大学校、大学等の農業研修を積極的に受け入れたことにより、農業後継者の育成につながった。

応募団体からのアピール・メッセージ

就農希望者の農業体験の受け入れによって、地元農業を盛り上げてIターンなどヒトの増加につながる活動を積極的にチャレンジしたい。

山口県柳井市日積4156-1　Tel：0820-28-0094